

2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラムポスター一覧

登録番号	担当部署	募集人数	テーマ
1801-国01	北海道国際センター（札幌） 市民参加協力課	1	北海道における開発教育支援を中心とした市民参加協力事業の業務支援
1801-国02	北陸支部 業務課	1	JICAの研修事業を通じての国際協力理解の推進 （2018年度青年研修アフリカ「職業訓練」コースへの参加）
1801-国03	北陸支部 業務課	1	JICAの研修事業を通じての国際協力理解の推進 （2018年度課題別研修「地域の特色を活かした産業振興」コースへの参加）
1801-国04	北陸支部 業務課	1	JICAの研修事業を通じての国際協力理解の推進 （2018年度課題別研修「中東における基礎教育拡充のための教育行財政と学校運営の改善」コースへの参加）
1801-国05	筑波国際センター 研修業務課	1	かんがい排水、水管理関連の研修コースへの参加及び実施補助
1801-国06	筑波国際センター 研修業務・ 市民参加協力課	1	開発教育支援事業を中心とした市民参加協力事業の業務補佐
1801-国07	中国国際センター	3	JICA研修事業を通じての国際協力理解の推進
1801-国08	北海道国際センター（帯広） 道東業務課	2	市民参加協力事業及び広報に関する業務補助
1801-国09	沖縄国際センター 研修業務課	1	開発途上国の生活習慣病予防における課題と対策の考察
1801-国10	九州国際センター 研修業務課	1	長期研修員を中心とした研修員受入事業の業務補佐

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国01
<b>■部署名/事務所名：</b>	北海道国際センター（札幌）	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	市民参加協力課		
<b>■テーマ</b>			
北海道における開発教育支援を中心とした市民参加協力事業の業務支援			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>市民の方々へ開発途上国が抱える問題や我が国との関わり、国際協力の役割などに関する知識の普及を図るとともに、将来の国際協力への参加を促進するため、JICAは開発教育支援をはじめとした市民参加協力事業を展開している。この一環としてJICA北海道では一般、児童・学生、教員など様々な対象層に向けた行事・プログラム・研修会、さらにはJICAが開発途上国から受け入れている研修員との相互理解・交流プログラム等を実施しており、今回募集するインターンは、これらのイベントの効果的・効率的な実施等に向けた各種業務支援を行う。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/1（土）に予定されている国際協力・地域交流イベント「世界ふれあいひろば」を中心とした市民向けイベントの実施準備、開催補助</li> <li>・本インターンとは別に1週間程度受け入れる学部インターン生（数名）との調整、統括</li> <li>・イベント実施後のアンケート集計、ホームページ原稿作成、及び改善事項等の整理や提言</li> <li>・施設（地球ひろば）訪問プログラムの実施・運営の準備、当日補助</li> <li>・その他業務に係る情報収集・整理補助</li> </ul>			
<b>■参考情報</b>			
<a href="https://www.jica.go.jp/sapporo/index.html">https://www.jica.go.jp/sapporo/index.html</a>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
市民向け国際理解イベント、児童・学生向け開発教育支援プログラム、研修員学校訪問プログラム（未定）			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年8月中旬 から 9月下旬 までの 1～1.5ヶ月間程度			
理由：			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学院生			
<b>■応募資格以外に受入に必要な要件</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時など、途上国から来日した研修員とのコミュニケーションが求められる場面もあるため、基礎的な英会話能力があることが望ましい</li> <li>・国際協力や市民向けイベントへの意欲や熱意があることが望ましい</li> <li>・学部インターン生との調整、統括が活動内容に含まれるため、チームを取りまとめる経験や能力があることが望ましい</li> </ul>			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他（提供可能な事項）： _____			
<b>■備考・留意点</b>			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国02
<b>■部署名/事務所名：</b>	北陸支部	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	業務課		
<b>■テーマ</b>			
JICAの研修事業を通じての国際協理解の推進 (2018年度青年研修アフリカ「職業訓練」コースへの参加)			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>青年研修では将来の国づくりを担う若手人材を招へいて、日本国内で基本的な専門分野研修を提供することにより、</p> <p>1) 若手人材の専門性向上に資すること、2) 自国において課題解決への取り組みに資する知識、意識を向上させることを目的としている。特に職業訓練をテーマとする本コースでは、アフリカ諸国から参加する研修員を対象に、次の点を研修内容としている。</p> <p>(1) 日本における職業訓練の概要、教育体制の現状を中心とした基本的な知識を学ぶ。</p> <p>(2) 現場視察、関係者との意見交換等を通じ当該分野における日本の経験又は社会の背景等を学ぶ。</p> <p>研修期間：2018年8月27日-2018年9月13日                  使用言語：英語（ただし研修監理員による日本語⇄英語の通訳有り）                  参加研修員：ウガンダ、エジプト、エチオピア、ケニア、スーダン、南スーダン、タンザニア、ナイジェリア、マラウイ、リベリア、ルワンダ、レソト 17名（予定）</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>当支部で実施する2018年度青年研修アフリカ「職業訓練」コースへ参加し、引率や写真撮影などの業務補助を行いつつ研修員と同様に全研修プログラムに参加する。</p> <p>インターン生は、課題は職業訓練や地域産業振興、地域はアフリカの切り口で、国内での国際協力の現場である研修事業にJICA、研修実施機関、研修監理員他と協力して参加することにより国際協理解を推進する。インターン期間は参加する青年研修の期間の前後に支部オリエンテーション、報告会を加えた期間を予定。</p> <p>インターン生は毎日の簡単なレポート作成し、研修の様子、本人が学んだ事を支部の研修担当者に共有することとする。</p> <p>主な研修実施場所は石川県小松市および周辺</p>			
<b>■参考情報</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
研修のプログラムに沿った表敬・視察に参加する。 インターン実施時期に支部で実施する各種セミナー、開発教育支援関係のイベントには希望があれば参加可能。			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年8月下旬 から9月中旬 までの 3週間程度 <p style="text-align: center;">理由： 参加の課題別研修の実施期間が確定しているため</p>			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生・社会人全て可		職業訓練および地域産業振興、アフリカ	
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
希望する分野は「職業訓練および地域産業振興」、「アフリカ」であるが、これらの分野を専門としている必要は無く、一つの分野でも専門であるか、研修事業を通じて国際協力事業の理解を目指したいのであればインターン参加には支障は無い。ただし研修員とのコミュニケーションは英語となるため、ある程度の語学力（英検2級、TOEIC600程度）を必要とする。			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
<b>■備考・留意点</b>			
北陸支部には宿泊施設が無く、研修は小松市および周辺地域で実施されるため、遠方から参加する場合はホテル宿泊となります。その場合、インターン生の経費的な負担（宿泊費や交通費）が大きくなると思われます。 インターン実習期間は参加予定の研修時期を含むのであれば、前後の期間については相談の上決定。			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国03
<b>■部署名/事務所名：</b>	北陸支部	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	業務課		
<b>■テーマ</b>			
JICAの研修事業を通じての国際協理解の推進 (2018年度課題別研修「地域の特色を活かした産業振興」コースへの参加)			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
JICAの研修事業の全プログラムに参加することによって、研修事業の実際を理解するとともに、国内での国際協力の現場である研修を通じて国際協理解の推進を図る。参加予定の研修の概要は以下の通り。 【研修概要】 研修期間：2018/7/8-2018/8/4 使用言語：英語 研修内容：本研修は各国各地域の研修員が、北陸地域の風土、文化、歴史、伝統や、産業振興の歴史、それらを踏まえた産業集積の現状、それらを可能にする仕組み、組織体制等について学び、研修員の母国や担当する地域の状況に応じて、北陸地域における取組の模倣を促す機会を提供すべく、研修として実施する。研修前には所属組織および研修員自身の取組やその課題について分析し、日本での研修は、日本の産業振興制度について講義等で学び、産官学の関係機関の実際の取組状況を視察することで学びを深め、参加各国間での情報共有も行き、帰国後の活動計画案としてアクションプランを作成する。 参加研修員：アツガン、アルパニア、コソボ、ドミニカ共和国、プータン、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ミャンマー、東ティモール 10名（予定）			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
当支部で実施する2018年度課題別研修「地域の特色を活かした産業振興」コースへ参加し、引率や写真撮影などの業務補助を行いつつ研修員と同様に全研修プログラムに参加する。 インターン生は、課題は地域産業を切り口に、国内での国際協力の現場である研修事業にJICA、研修実施機関（公益財団法人太平洋人材センター）、研修監理員他と協力して参加することにより国際協理解を推進する。インターン期間は参加する課題別研修の期間の前後に支部オリエンテーション、報告会を加えた期間を予定。 インターン生は毎日の簡単なレポート作成し、研修の様子、本人が学んだ事を支部の研修担当者に共有することとする。 主な研修実施場所は北陸3県			
<b>■参考情報</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
研修のプログラムに沿った表敬・視察・研修旅行等は参加する。 インターン実施時期に支部で実施する各種セミナー、開発教育支援関係のイベントには希望があれば参加可能。			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年7月 から8月 までの 1ヶ月間程度  理由：参加の課題別研修の実施期間が確定しているため			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生・社会人全て可		地域産業	
<b>■応募資格以外に受入に必要な要件</b>			
希望する分野は「地域産業」であるが、全分野を専門としている必要は無く、一つの分野でも専門であるか、研修事業を通じて国際協力事業の理解を目指したいのであればインターン参加には支障は無い。ただし研修員とのコミュニケーションは英語となるため、ある程度の語学力（英検2級、TOEIC600程度）を必要とする。			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
<b>■備考・留意点</b>			
北陸支部には宿泊施設が無く、研修日程の大半は北陸3県（石川、福井の日程が長い）で実施され各県でのホテル宿泊となるので、在北陸か北陸内で通える範囲でないとインターン生の経費的な負担が大きくなる。 インターン実習期間は参加予定の研修時期を含むのであれば、前後の期間については相談の上決定。			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国04
<b>■部署名/事務所名：</b>	北陸支部	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	業務課		
<b>■テーマ</b>			
JICAの研修事業を通じての国際協理解の推進 (2018年度課題別研修「中東における基礎教育拡充のための教育行財政と学校運営の改善」コースへの参加)			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
JICAの研修事業の全プログラムに参加することによって、研修事業の実際を理解するとともに、国内での国際協力の現場である研修を通じて国際協理解の推進を図る。参加予定の研修の概要は以下の通り。 【研修概要】 研修期間：2018/8/22-2018/9/13 使用言語：アラビア語（ただし研修監理員による日本語⇄アラビア語の通訳有り） 研修内容：本研修は中東地域における教育内容と脆弱な教育財政の改善をめざし、教育行政官の人材育成を図る事を目的とし実施される。来日前には所属組織および研修員自身の取組やその課題について分析し、日本での研修は、日本の教育制度について講義等で学び、教育委員会や関係機関の実際の取組状況を視察することで学びを深め、参加各国間での情報共有も行い、帰国後の活動計画案としてアクションプランを作成する。 参加研修員：エジプト、イラク 10名（予定）			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
当支部で実施する2018年度課題別研修「中東における基礎教育拡充のための教育行財政と学校運営の改善」コースへ参加し、引率や写真撮影などの業務補助を行いつつ研修員と同様に全研修プログラムに参加する。 インターン生は、課題は教育、地域は中東、言語はアラビア語の切り口で、国内での国際協力の現場である研修事業にJICA、研修実施機関（金沢大学）、研修監理員他と協力して参加することにより国際協理解を推進する。インターン期間は参加する課題別研修の期間の前後に支部オリエンテーション、報告会を加えた期間を予定。 インターン生は毎日の簡単なレポート作成し、研修の様子、本人が学んだ事を支部の研修担当者に共有することとする。 主な研修実施場所は石川県金沢市			
<b>■参考情報</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
研修のプログラムに沿った表敬・視察・研修旅行等は参加する。 インターン実施時期に支部で実施する各種セミナー、開発教育支援関係のイベントには希望があれば参加可能。			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年8月 から9月 までの 1ヶ月間程度  理由：参加の課題別研修の実施期間が確定しているため			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生・社会人全て可		教育、中東、アラビア語	
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
希望する分野は「教育」、「中東」、「アラビア語」であるが、全分野を専門としている必要は無く、一つの分野でも専門であるか、研修事業を通じて国際協力事業の理解を目指したいのであればインターン参加には支障は無い。 ただし「アラビア語」が専門の場合は、英検2級相当以上のアラビア語の語学力が必要とする。			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
<b>■備考・留意点</b>			
北陸支部には宿泊施設が無く、研修日程の大半は金沢で実施され金沢市内でのホテル宿泊となるので、在金沢か金沢へ通える範囲でないといインターン生の経費的な負担が大きくなる。 インターン実習期間は参加予定の研修時期を含むのであれば、前後の期間については相談の上決定。			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国05
<b>■部署名/事務所名：</b>	筑波国際センター	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	研修業務課		
<b>■テーマ</b>			
かんがい排水、水管理関連の研修コースへの参加及び実施補助			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>人口の急増に伴い、多くの開発途上国において食糧不足が深刻化しています。開発途上国では、とりわけ農地の水不足が農業生産の制限要因となっているため、流域水循環の視点からの適切なかんがい排水事業の推進が社会的に要請されています。筑波国際センターが実施する課題別研修「統合的水管理に基づくかんがい排水技術」コース（2018年3月4日～9月15日）は開発途上国のかんがい排水分野の技術者を対象とし、かんがい排水の調査・施設設計・維持管理技術の他、農業用水管理における地球温暖化対策やプロジェクト管理等、講義、実習、視察等を通じて、統合的な水管理を実施する行政官に必要な知識と能力の向上をめざして実施しています。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>本インターンシップでは「統合的水管理に基づくかんがい排水技術」コースに参加し、JICA、研修業務委託先と協力して研修実施の補助を行っていただきます。詳細な活動内容はインターン決定後に設定しますが、以下のいずれかの分野で、インターンの能力及び希望に合わせます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統合的水管理</li> <li>2. かんがい・排水等農業土木分野</li> <li>3. 参加型水管理</li> </ol> <p>具体的な活動例及び期待されるインターンの成果は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. JICAが実施する技術協力や本邦研修の運営について理解を深めること。</li> <li>2. 研修員が抱える課題とその解決策を聞き取ること（平日16:00～17:00を想定）</li> <li>3. 現地研修同行を含む研修への参加と上記聞き取りを通じて、研修の運営やプログラム上の課題について参加型手法で分析を行い、次年度以降への提案を行うこと。</li> <li>4. 本コースの広報活動補助（プレスリリース、Facebook記事、JICA筑波ウェブサイト記事）</li> <li>5. 筑波国際センターが実施する一般来訪者の施設見学等の市民参加協力事業補助業務</li> </ol>			
<b>■参考情報</b>			
<a href="https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary/lineup2017/sector/ku57pq00001zhc2u-att/1784718.pdf">https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary/lineup2017/sector/ku57pq00001zhc2u-att/1784718.pdf</a>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同時期に実施している農業・農村開発関連の研修の一部聴講可能（英語で実施）</li> <li>・同時期に実施しているJICA筑波の一般来訪者向けイベント</li> </ul>			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年 7月下旬 から 9月下旬 までの 1ヶ月間以上			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可    理由：			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生ともに可		農業、農業土木	
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該分野での研究を行っているまたは行う予定のある方。</li> <li>2. 将来農業農村開発（特に農業水資源分野）に携わることを希望している方が望ましい。</li> <li>3. 研修実施補助を行うため専門分野での語学力（英語）が求められます。</li> </ol>			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
<b>■備考・留意点</b>			
圃場や実習施設での実験・実習にあたっては、作業しやすく汚れてもよい服装と靴が必要です。			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国06
<b>■部署名/事務所名：</b>	筑波国際センター	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	研修業務・市民参加協力課		
<b>■テーマ</b>			
開発教育支援事業を中心とした市民参加協力事業の業務補佐			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>JICAは日本と途上国の人々をむすぶ架け橋として、途上国の現状を日本国内へ伝えるとともに、市民が行う国際協力の取り組みを支援しています。JICA筑波においても、開発教育支援事業として市民・NGO・自治体・学校等による国際協力活動への参加を支援しながら、地域の方々とさまざまな形で連携しています。</p> <p>当センターで実施している主な開発支援事業プログラムは以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「大学生・大学院生向け国際協理解講座」：講義やワークショップ等を通じて国際協力の知識を深める講座</li> <li>2. 「JICA筑波 施設訪問」：小中高生など一般市民がJICA筑波を訪れるプログラム</li> <li>3. 「研修員の学校訪問」：途上国から来た研修員が日本の学校を訪問し、子供たちと交流するプログラム</li> <li>4. 「国際協力出前講座」：青年海外協力隊など国際協力の現場で活躍した人材を講師として学校へ派遣するプログラム</li> <li>5. 「教師海外研修/国際理解実践セミナー」：主に教員を対象にした国際理解を知るプログラム</li> <li>6. その他（各種イベント）</li> </ol>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>今回募集するインターンには、JICA筑波で実施している開発教育支援事業のうち、以下のプログラムにおいて、担当スタッフとともに、企画・運営・実施およびフォローアップ等の業務をご担当いただきます。</p> <p>各プログラムで想定される具体的な活動内容は以下のとおりですが、諸事情により変更になることがあります。また、以下のすべてのことを担当していただくのではなく、以下のうち、いずれかを担当していただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「大学生・大学院生向け国際協理解講座」： <ul style="list-style-type: none"> <li>講座の運営、モニタリング、評価の補佐業務（アンケート作成、振り返りセッションの実施などはインターン自身の自由研究として設定可）</li> </ul> </li> <li>2. 「JICA筑波 施設訪問」小中高の生徒さんの訪問の際の運営補助</li> <li>3. 「研修員の学校訪問」：研修員が学校を訪問する際の同行、プログラム実施補助</li> <li>4. 「国際協力出前講座」：青年海外協力隊などを講師として学校へ派遣する際の同行補助</li> <li>5. 「教師海外研修/国際理解実践セミナー」：セミナーへの参加、運営補助</li> <li>6. その他（各種イベント）：研修員が参加するプログラムへの同行のほか、前記1.～5.の広報記事作成etc.</li> </ol>			
<b>■参考情報</b>			
<a href="https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/kaihatsu/index.html">https://www.jica.go.jp/tsukuba/enterprise/kaihatsu/index.html</a>			
<b>参照</b>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「研修員の学校訪問」および「国際協力出前講座」（茨城県内の小・中・高校等）</li> <li>・「大学生・大学院生向け国際協理解講座（8月20日から25日実務コース実施期間）」</li> <li>・その他、国際理解教育や研修員にかかかかる各種イベント</li> </ul>			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年8月上旬から9月下旬までの間、適宜1ヶ月間程度選択可 (8月20日から25日は、原則、実習期間としていただきたい。)			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可    理由：			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生ともに可		教育分野（国際理解教育）・開発支援・国際関係分野等	
<b>■応募資格以外に受入に必要要件</b>			
英検2級相当（TOEIC580-、iBT；65-）以上の英語力を有する者が望ましい。			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
<b>■備考・留意点</b>			
☆遠方からの参加の方には、宿泊施設の利用相談可。（@2,695円/泊）但し、JICA技術研修員等の宿泊予約状況次第で、空きがあることが前提。			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国07
<b>■部署名/事務所名：</b>	中国国際センター	<b>■募集人数 (人)</b>	3
<b>■課名/プロジェクト名：</b>			
<b>■テーマ</b>			
JICA研修事業を通じての国際協理解の推進			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>広島県東広島市に位置するJICA中国（中国国際センター、以下当センターと言う）は中国地方5県を所管し、研修員受入事業においては受入年間600名近くの途上国の行政官等を研修員として受け入れています。インターンとして参加頂く方にはインターン時期に分野を問わず当センターの近辺で実施されている研修コースへの同行・講義聴講や当センターに滞在中の研修員との意見交換、職員との意見交換等を通じてJICA研修事業を通じての国際協力への理解を深めて頂きたいと考えています。</p> <p>また、研修員のうち100名程は大学の修士・博士課程にも在籍しており、これらの研修員は皆さんと同様の立場で1年以上日本に滞在しております。これらの研修員とも意見交換等をして頂き外国人が日本に住み大学に通うことについて留意すべき点等も取り纏めて頂きたいと考えています。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>期間中、以下の活動、提出頂く成果を想定しております。</p> <p><b>【活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当センター近辺で実施されている研修コースへの同行、講義聴講（1回～数回）</li> <li>・研修員（上述の長期タイプも含む）との意見交換、情報収集、当センター職員等関係者との意見交換、情報収集</li> <li>・当センターの研修情報について発信しているホームページ、フェイスブックの改善検討</li> <li>・外国人へ発信する中国地方の情報の収集</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が日本に住み大学に通うにあたっての留意点の取り纏め（来日研修員への配布に活用できることを念頭に）</li> <li>・研修参加者に配布する中国地方の情報シート案</li> <li>・ホームページ、フェイスブック等の情報発信方法の改善案</li> </ul>			
<b>■参考情報</b>			
JICA中国ホームページ <a href="https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html">https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html</a>			
<b>■参加(同行)可能な行事・視察等</b>			
インターン時期に当センター近隣で実施されている研修コースへの同行、イベントへの参加			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年7月から8月中旬までの1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可    理由：			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生ともに可			
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
英語での意見交換に支障ない英語レベル（TOEIC730点以上が目安）			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)：			
<b>■備考・留意点</b>			
当センターの居室に空きがある場合は1泊2695円で宿泊頂くことが可能です。（8月中旬以降はほとんど空室はない見込みです。）			



## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国08
<b>■部署名/事務所名：</b>	北海道国際センター（帯広）	<b>■募集人数 (人)</b>	2
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	道東業務課		
<b>■テーマ</b>			
市民参加協力事業及び広報に関する業務補助			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>北海道の道東地域を所管するJICA北海道（帯広）では、所管地域における開発協力の担い手の裾野拡大及び地域の活性化のため、多様な担い手による我が国国内での知見の共有や発信の支援、ボランティア事業や開発教育等の取組を通じ、開発協力への各層の理解、広範な参加及び開発協力参加者の経験の社会還元を推進してきた。</p> <p>本インターンシップは、将来国際協力の分野で活躍することを希望される方に、JICA北海道（帯広）における市民参加協力事業及び広報に関する業務補助の経験を通じ、日本（北海道、特に道東地域）と途上国との結びつきを理解してもらうとともに、市民の目線から各種事業の課題や改善点を検討してもらうことを目的として実施する。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内案内ガイド各種リニューアル（地元の方につながりが持てるような説明資料の作成等）</li> <li>・館内展示の企画・作成（展示中の企画への理解が深まる補助資料の作成・展示等）</li> <li>・中高生対象のワークショップ企画・提案（期間中に参加者として体感する機会を設ける）</li> <li>・各種事業現場への同行を通じ得られた所感を元にしたウェブサイト原稿の作成</li> </ul>			
<b>■参考情報</b>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
インターンシップの期間中、JICA北海道（帯広）にて実施中の各種事業現場への同行（研修員受入事業、草の根技術協力事業、開発教育支援事業等）			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年8月下旬 から 9月中旬 までの 2週間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可                      理由：			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生・社会人全て可		特になし	
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
特になし			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項):			
<b>■備考・留意点</b>			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国09
<b>■部署名/事務所名：</b>	沖縄国際センター	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	研修業務課		
<b>■テーマ</b>			
開発途上国の生活習慣病予防における課題と対策の考察			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>JICA沖縄では、2017年度から大洋州諸国向けの青年研修「生活習慣病予防」コースを実施している（2017年度は6カ国16名参加）。</p> <p>この研修では、参加国の中央政府、地方自治体、NP0で生活習慣病予防に取り組む20歳～35歳の若手人材に対して、活動地域における生活習慣病予防に資する知見を提供する。具体的には、活動地域における生活習慣病の現状と原因の分析を共有し、沖縄県内の取組みに関する講義・視察・実習により自国の生活習慣病予防策の考察等を行う。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<p>本インターンシップは、保健・運動指導・栄養指導のいずれかを専攻する大学3年次以上、大学院生までを対象とし、生活習慣病予防について、以下の内容に取り組むこととする。</p> <p>①研修資料の準備、教室の準備等、研修運営を補佐する</p> <p>②研修員が作成したジョブレポートと研修員との議論に基づき、参加国の生活習慣病予防上の課題をまとめる</p> <p>③研修員と共に研修に参加し、保健・運動指導・栄養指導系学生の視点から「研修員が実施可能な方策」を検討する</p> <p>④将来、国際保健分野で活動する可能性を踏まえ、沖縄のどのような経験や制度が途上国に対しても有効であるのか、また、開発途上国から学び、取り入れられることがあるとすればどのようなことを考察し、まとめる</p> <p>⑤上記②～④により英文・和文の報告書を作成し、口頭発表も行う</p>			
<b>■参考情報</b>			
<p>JICA沖縄HP（事業の紹介）  <a href="https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/index.html">https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/index.html</a>  <a href="https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/hitokoto/ku57pq0000d8f6g-att/voice_08.pdf">https://www.jica.go.jp/okinawa/enterprise/kenshu/hitokoto/ku57pq0000d8f6g-att/voice_08.pdf</a></p> <p>JICAHP（生活習慣病対策プロジェクト）  <a href="https://www.jica.go.jp/oda/project/1300554/index.html">https://www.jica.go.jp/oda/project/1300554/index.html</a></p>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
・JICA沖縄青年研修「大洋州混成/生活習慣病予防」コース（講義、見学）全般の同行			
<b>■受入時期・期間</b>			
2019年1月中旬 から 2月上旬 までの 0.5ヶ月間程度			
<input type="radio"/> 調整可 <input checked="" type="radio"/> 調整不可    理由： 研修実施期間が決まっているため			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生ともに可		保健全般・運動指導・栄養指導	
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
保健分野または生活習慣病予防に関する運動指導・栄養指導に関する英文資料を読解でき、生活習慣病予防に関する英会話が可能であること。			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input type="checkbox"/> PC貸出し	<input checked="" type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input checked="" type="checkbox"/> その他(提供可能な事項) 研修員移動時の車両（JICA沖縄公用車または借上げ車両）に同乗可。			
<b>■備考・留意点</b>			

## 2018年度第一回JICAインターンシップ・プログラム

<b>受入担当部署/受入事務所</b>		<b>登録番号</b>	1801-国10
<b>■部署名/事務所名：</b>	九州国際センター	<b>■募集人数 (人)</b>	1
<b>■課名/プロジェクト名：</b>	研修業務課		
<b>■テーマ</b>			
長期研修員を中心とした研修員受入事業の業務補佐			
<b>■テーマ（プロジェクトなど）の概要</b>			
<p>JICA九州研修業務課では、各国の行政官を日本に招き、様々な分野の研修を行っています。このうち、長期研修とは、その国の発展に必要とされる特定分野の知識を深く修め、最終的には学位を取得することを目的に、1年以上の長期にわたって本邦に受け入れる研修です。この研修に参加する研修員のことを特に「長期研修員」と呼びます。長期研修員は、大学院の修士課程または博士課程に在籍し、一般的な大学院生と同じように指導教官のもと履修をし、論文等を提出して学位を取得します。帰国後は、研修で得た知識を活用し、本国の発展に寄与することが期待されます。JICA九州では、九州の大学に在籍する長期研修員について、生活基盤整備支援、進捗モニタリング、家族呼び寄せや海外渡航に係る諸手続き、帰国手続き等を行っています。</p> <p>また、課題別研修は、特定の課題に関する研修を、様々な国から来た研修員が1つのチームとなって受けるものです。課題別研修は平均して40日程度の短い期間で行われますが、期間中、講義、視察、討論、実習および帰国後の活動計画の作成や発表を効率よく行い、その国の発展に貢献することを考えて構成されています。</p>			
<b>■具体的なインターンシップ活動内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期研修員来日後に必要な諸手続きの業務補佐（ウェルカムレター作成、パスポートや在留カードの確認およびコピー、大学に移動する際に同行するコーディネータ手配、大学への移動手配、アパートが見つかるまでのホテル宿泊依頼等）</li> <li>・長期研修員帰国前に必要な諸手続きの業務補佐（研修員が使用していた銀行キャッシュカードの回収、報告会の日程調整、帰国研修員の活動に関するHPまたはSNS用記事作成等）</li> <li>・在学中長期研修員の活動支援に係る各種手続き（外国でのフィールド調査申請の受理および確認、アパート転居や契約更新に関する手続き、家族呼び寄せ申請に関する手続き）</li> <li>・課題別研修で実施する講義・施設見学・交流プログラム・研修員向けバスツアー・日本語研修等への同席・同行、同講義・見学に関するHPまたはSNS用記事作成</li> <li>・課題別研修への同行を踏まえた、研修の改善点の検討</li> <li>・交流プログラムやバスツアーへの参加・同行を踏まえた、改善点の検討</li> <li>・センターでの研修員サービスについて、研修員とのコミュニケーションを通じ、研修員のニーズを探るとともに、解決策を検討する（例：食堂メニューや食堂運営体制の改善など）</li> </ul>			
<b>■参考情報</b>			
<p>主な長期研修プログラムは以下のとおりです。</p> <p>アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）  <a href="https://www.jica.go.jp/africahiroba/business/detail/03/index.html">https://www.jica.go.jp/africahiroba/business/detail/03/index.html</a></p> <p>未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト（PEACE）  <a href="https://www.jica.go.jp/project/afghanistan/006/index.html">https://www.jica.go.jp/project/afghanistan/006/index.html</a></p> <p>太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム（Pacific-LEADS）  <a href="https://www.jica.go.jp/regions/oceania/Pacific-LEADS.html">https://www.jica.go.jp/regions/oceania/Pacific-LEADS.html</a></p>			
<b>■参加（同行）可能な行事・視察等</b>			
<b>■受入時期・期間</b>			
2018年8月 から 9月 までの 1ヶ月間程度			
<input checked="" type="radio"/> 調整可 <input type="radio"/> 調整不可                      理由：			
<b>■希望する人材（大学生/大学院生/社会人）</b>		<b>■希望する分野</b>	
大学生・大学院生ともに可			
<b>■応募資格以外に受入れに必要な要件</b>			
<b>■提供可能な執務環境等（可能な項目にチェックを入れてください。）</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 執務スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 電話等の利用	<input checked="" type="checkbox"/> PC貸出し	<input type="checkbox"/> PC自身で準備
<input checked="" type="checkbox"/> 関連情報・資料の提供等	<input type="checkbox"/> 携帯電話貸出	<input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話通話料個人負担	
<input type="checkbox"/> その他(提供可能な事項)：			
<b>■備考・留意点</b>			